



社会福祉法人いちょうの里

# みずほ学園

令和7年6月発行

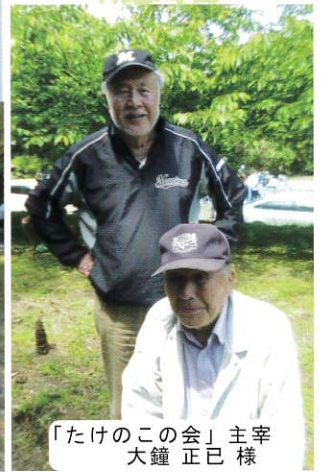
発行 社会福祉法人  
いちょうの里後援会  
発行責任者 上田 順 皓  
千葉県勝浦市大森上植野  
入会地13-2  
Tel. 0470-76-4321



## たけのこ狩り復活!!

「たけのこ会」ご協力による

四月二十七日の日曜日、寂光寺にて開催



「たけのこ会」主宰  
大鐘 正巳 様

## たけのこ狩り復活しました

村上 武 施設長

途絶えて久しい行事「たけのこ狩り」ですが、ゴールデンウィークの帰宅にあわせ、保護者の方々のお土産として持たせようということから始まったこの行事を約六年ぶりに復活することができました。

地域とのつながり・コロナ禍でできなかった交流の復活を切望される理事長の熱意で竹林の管理をされている地元の大鐘さんと交渉を重ね、承諾のご厚意を頂けることとなりました。

かつては学園の皆さんが入山される前に「たけのこ会」のメンバーが前もって掘って頂いたこともあり、沢山のたけのこを帰宅に持たせることが出来ました。

大鐘さんは「たけのこ会」の主宰で、ご健在であり、竹林の似合う方です。

記念すべき今回の復活は、四月二十七日の日曜日となり、場所は以前と同じ千葉県の指定天然記念物「上野村の大椎」という大樹があることで有名な古刹(寂光寺)に隣する竹林。保護者は入所、通所、グループホーム合わせ二十七名の方にご参加いただくこととなりました。

かつての「たけのこ会」の掘る量とは比較になりませんが、佐瀬理事、山口副施設長、近藤主幹、末吉栄養士、私で先発隊を設け、先に五カゴほど掘り、前もって少し準備をしました。

## 感謝録

令和6年度の寄付及び会費をお納め下さいました  
多くの皆様方に、心からの感謝と御礼を申し上げます。

いつもありがとうございます  
ごじいます。



あ

愛川 久子様  
浅野 香太郎様  
安藤 徳道様  
飯原 禎様  
飯原 直美様  
伊賀 崇様  
伊賀 眞由美様  
磯野 喜代子様  
(有)伊丹車両様  
井本 成彦様  
(株)ワイアンドエフ  
代表取締役  
岩瀬 富久子様  
(有)岩瀬竹次郎商店  
代表取締役  
岩瀬 洋男様  
岩瀬 光史様  
岩瀬 上様

上田 裕皓様  
上田 雅皓様  
上田 順皓様  
上野 武紀様  
植村 淳一様  
宇佐美 圭子様  
江澤防災設備有限公司  
代表取締役  
森 正義様  
大澤 信子様  
大隅 均様  
大貫 喜美子様  
大野 正明様  
(有)岡田清掃  
代表取締役  
岡田 貴宏様  
大鐘 裕之様  
岡村 栄子様  
岡本 一枝様  
岡本 幸男様  
小駒 恵子様  
小田切 光明様  
小野寺 豊雄様

か

掛須 和雄様  
掛須 政子様  
片岡 仁美様  
加藤 誠司様  
加藤 知光様  
加藤 司様  
加藤 光枝様  
加藤 諒司様  
金田 健児様  
金田 達朗様  
金田 升男様  
神出 建雄様  
亀崎 重男様  
亀崎 澄枝様  
榎下 順子様  
河村 正夫様  
神田 眞智子様  
株式会社  
関東三貴様  
吉川 陽子様

喜屋武 隆一郎様  
桐畑 哲雄様  
桐畑 美智子様  
栗原 修様  
瀬瀬 睦様  
小坂 京子様  
小島 崇弘様  
小西 敬子様  
小林 茂様  
小松 賢一様  
小松 健彦様  
近藤 秀昭様  
近藤 紘子様  
近藤 ふさ子様  
近藤 喜信様  
(有)近藤自動車商会様  
近藤 洋一様

し

齊藤 邦友様  
齊藤 紳也様  
齊藤 恒夫様  
齊藤 紀枝様  
齋藤 弘様  
齋藤 みどり様  
酒谷 玲子様  
坂本 亜矢様  
坂本 利昭様  
佐久間 五十雄様  
櫻井 登様  
提橋 秀夫様  
佐々木 高信様  
佐瀬 義雄様  
篠宮 一浩様  
清水 英子様  
清水 邦保様  
清水 義光様  
白井 洋子様  
株式会社シンコー  
エンジニアリング  
代表取締役  
磯野 智子様  
末松 一郎様  
末松 眞澄様  
末松 みき様

末森 知博様  
末森 博文様  
末吉 香菜様  
末吉 恒平様  
末吉 信弘様  
末吉 永様  
末吉 文子様  
末吉 真紀子様  
末吉 正幸様  
末吉 守様  
末吉 弥生様  
末吉 亘様  
杉山 圭一様  
鈴木 明敏様  
鈴木 栄様  
鈴木 光男様  
須藤 一子様  
須藤 昌子様  
株式会社関木工所  
代表取締役  
関 初男様  
関 幸子様  
関 裕二様  
関 雄二郎様  
関 雪子様



た

高木 幸子様  
高木 優治様  
高梨 一秀様  
竹井 文子様  
竹内 智美様  
武田 公子様  
但田 潔様  
辰巳 鐵次郎様  
辰巳 久子様  
田中 ケイ子様  
田中 千恵子様  
田邊 裕雄様  
谷島 和江様  
田村 健二様  
千坂 せつ子様  
千坂 実木様  
坪内 多恵子様  
坪内 武様  
遠山 栄龍様  
戸塚 美砂子様  
轟 敬様  
轟 肇様  
鳥井 康子様

な

中川 祥子様  
中村 和希様  
中村 圭吾様  
中村 由季子様  
中村 てる子様  
中村 登美子様  
中村 伸江様  
中村 裕明様  
中村 雅充様  
中山 信孝様  
並木 菜穂子様  
檜葉 登美子様  
日伸建設株式会社  
代表取締役  
中村 伸一様  
二村 順子様  
野口 靖子様  
芒崎 のり子様

は

ハーベスト株式会社  
代表取締役  
脇本 実様  
萩原 正規様  
萩原 道子様  
長谷川 政二様  
長谷川 敏雄様

ま

巻渚 晴美様  
牧山 滋様  
松崎 久彦様  
松崎建具店  
松崎 栄二様  
松田 みゆき様  
松本 昭男様  
松本 菊夫様  
真山 節子様  
丸 智之様  
丸 万由美様

や

矢野 由美子様  
山口 秀一様  
山本 英宣様  
山本 洋子様  
八幡 秀夫様  
吉田 誠様

掲載のお花はすべて、  
みずほ学園で育てたものです。



いつも  
ありがとうございます

村上 武様  
(株)もちづき  
(代)濱野 浩様  
元吉 有希子様  
元吉 喜信様

ら

(株)ユアスペースエンヤ  
代表取締役  
圓谷 明彦様  
(株)ユアスペース両毛  
代表取締役  
大須賀 幸雄様  
(株)ランディック  
代表取締役  
川島 通男様

ゆ

(株)ユアスペースウエダ  
代表取締役  
上田 順皓様

わ

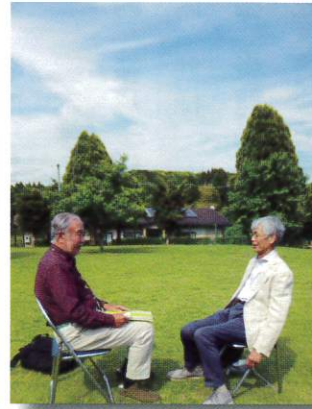
渡邊 浩氣様  
渡邊 光枝様



# 青空対談

『みずほ学園の  
これからを聞く』

後援会長 上田順皓氏 × 理事長 藤吉幸博氏



上田後援会長（以下【上田】）

藤吉理事長、今回の対談を快く承諾いただきありがとうございます。よろしくお願いいたします。

藤吉理事長（以下【藤吉】）

理事長の藤吉幸博です。この度、対談の機会を頂きありがとうございます。対談のはじめにあたり、後援会の皆様には、常日頃から金銭面をはじめとして様々なご支援、ご協力を賜り心からの敬意と感謝を申し上げます。

【上田】それでは初めに、みずほ学園は、創立三十四年経過しました。利用者、職員、建物、設備そして保護者もすべて同じように三十四年という年月を越えてきました。そこで、これらに対する、問題や中長期的な計画等がありましたら教えてください。

## 《中期計画等について》

【藤吉】ご存知のように、法人の理念は『私たちは、ご利用者を最優先にし、安心・安全を支え、豊かな生活を実現します。』です。その実現のために、ご利用者ファーストで取り組んでいます。（〇〇ファーストは、トランプ大統領により余り良いイメージではなくなりましたが。）職員を含めた法人とご利用者は、一緒に生活する仲間と言うかファミリイのようなものだと考えています。そこで、優しさのみでなく厳しさも必要になりますが、仲間意識は忘れないようにしたいと思っています。

【上田】ご利用者ファーストには厳しさも必要とのことですが、大変そうですね。

【藤吉】以下に何点か課題への取り組みを述べます。

最初の課題は職員の確保です。慢性的な職員不足への対応が大きな課題でした。後援会のご支援や職員の努力等により、当面の職員数の確保はほぼ出来ています。しかし、新しく入った職員が多いこともあり、職員全体のスキルアップは必須です。スキルアップについては、職員研修の項で述べさせていただきます。

但し、今後継続して職員を確保していける仕組みは出来ていませんので、関連団体との連携等を含めて進めて行く所存です。

【上田】そうですね、今後の継続した職員確保体制の構築は喫緊の課題ですね。

【藤吉】2点目の課題はご利用者の確保です。職員不足が続いたこと等によりご利用者の定員割れが続いており、欠員の補充が必要となっています。

当施設は、東京都認可で東京都と千葉県との協定施設となっており、特に東京都措置のご利用者確保を図ることが重要です。

補充には行政及び障害者支援団体との連携が重要ですが、コロナ禍もあり余りコンタクトが取れませんでしたので、早急に再開を図ります。

また、行政及び支援団体への対応のみでなく、学園の募集計画は当然としても、後援会・保護者会の情報提供のご協力も非常に重要ですので、引き続き支援を宜しくお願い致します。

【上田】後援会としても欠員の補充や情報の提供についても全面的に協力をしてまいります。



ファームでの野菜作り



シイタケ原木の運搬作業



ご利用者との作業は多岐にわたります。

再々塗装で外壁はきれいですが、本体は劣化が進んでいます。



【藤吉】3点目の課題は施設の建替えです。建替えが必要になるのは、「建物の耐久年数」および、ご利用者の高齢化による「施設の高齢者対応化」の2点です。建物は、あと一〇年強で耐久年数をむかえます。高齢者対応としては、個室・介護風呂の設置・車椅子使用・バリアフリー等の必要があります。

また、同時に全体を建替えると工事の生活が出来なくなりますので、先ず一棟を増設し（その棟は最終的に女子棟とすることを想定しています）、ユニット単位等で移動してもらい空いた所を建替えることを繰返し行うこととなります。

初版の図面案及び大まかな資金計画を作成し、最初の棟の早急な具体化を目指しました。最初の棟は、創設ですの自己資金での建設費を賄うことが必要ですが、以降の現施設の建替えについては補助金なしでは困難であり、その対応も重要と認識しています。

しかし、建築費を含めた物価高騰があり、現在は中断を余儀なくされている状況ですが、前回の大規模改修の経験者が少なくなっていく等の時間的制約も考慮する必要があります。今年度から検討を再開したいと考えています。

更に、初版の計画案は、ハード面が主ですので、現場の職員を中心としたソフト面の検討が必須であり、ベテラン職員の経験や課題認識、新人の新しい観点でのアイデア等を追加していく事が必須だと考えています。

施設建替えにつきましても、後援会のご協力は必須ですので、宜しくお願い致します。

【上田】施設の建替えは、大変大きな事業であると考えます。できる限りの支援をして参りたいと思います。

### 《地元との共生について》

次に、みずほ学園は地元との関係が非常にうまくいっていると思いますが、設立当時、その地元との交流、すなわち地元食材提供による餅つき大会、みずほ祭り、秋の地元のおみこしの立ち寄り（現在は中断中）そして消防訓練等その他数多くの支援を受けています。残念ながら、勝浦市、特に地元古新田地区も例外にもれず、人口減少、高齢化が進んでいます。このような状況下でみずほ学園として、どのような地元との共存を考えておられますか。



みずほ祭りでの交流や  
地元消防署による消防訓練。



【藤吉】施設の設立準備段階から、地元の方々には大変お世話になっております。また、お互いのイベントを通して交流等により、相互に良好な関係を続けていくことが出来て感謝しております。しかし、コロナ禍により、交流を中断せざるを得なくなっており、コロナ禍が一段落した現在も交流は元に戻せておりません。

そこで、交流イベントを徐々に再開してきておりますが、中心となつてご支援いただいていた地元の方々への対応が重要だと考えています。対応を進める為に、学園サイドでも中心となる担当を設け推進していく予定です。

地元（行政を含む）の人口減少、高齢化、過疎化については、施設では如何ともし難い課題です。以前に地方の施設でお話を伺った時に、地元の過疎化によりその施設なしでは地元がまわらない状況となっており、そのことを自覚し施設が地元で担える役割を考え、活動しているとの事でした。みずほ学園は、未だそこまでの状況ではないと思いますが、地元のために担う事の出る役割を考えていく必要があると思っています。

地元の対応については、後援会にも大きな役割を担っていただいております。今後とも強化も含めまして継続をお願い致します。

地元の行政（千葉県、勝浦市）への対応にも言及されていますが、当施設の場合は前述のように東京都の行政対応も非常に重要です。多くのご利用者の地元であった東京都との対応も忘れることが出来ませんし、推進していく事が重要です。

### 《職員研修について》

【上田】みずほ学園は、約十年前から外部講師による研修会を開いています。その後、保護者から職員の態度、目つきが大きく変わったとの声を何度も耳にしました。教育は、人を変えることができるのと一例だと思っています。

厳しい財政状況下と思いますが、今後の教育訓練についての考えをお聞かせください。

【藤吉】ご利用者の保護者からの利用指定寄附を基盤に外部講師による支援技術向上のための研修を継続しており、大いに役に立っております。研修については、出席者の偏りが無いよう、また出席者以外にも報告等により役立てるよう指導をしています。

支援技術については、介護スキルも必要となるので研修を開始しています。現段階は知識が中心ですが実務訓練も重要となるので強化していく予定です。また、自己管理も含めマネージメント力の強化が必要と認識しており、有識者である理事に講師を依頼し実施しています。

県主催での  
発表会の様子



学園内研修の様子



また、管理職を中心にリーダー層の経営力の強化が必須であり、内に籠った活動のみでなく積極的に外部との接触を図るよう指導しています。

職員の勤務形態を考慮すると、多くの職員を一堂に集めての研修は難しい面もあるので、時間に捉われずネットでの研修もあり、効率化の面からも検討をお願いしています。

研修成果を出すためには本人の意欲・自覚が重要です。そのため、職場環境づくりも大切であると考え、取り組みの一環としていきたいと思っています。

### 《終わりに》

【藤吉】ご指摘以外の課題も多々あり、後援会のご支援・ご協力を仰ぐことが多いと思いますが、引き続き宜しくお願い致します。

【上田】今回は、ご多用のところ大変有意義な対談をありがとうございました。

# 大盛り上がりの餅つき大会！



みずほ学園の餅つき大会は開園した翌年のお正月から始まりました。当時

の大鐘古新田区長の声掛けで、古新田区の皆様の家庭から「もち米」をご寄付いただき、前日のもち米研ぎ、浸漬を区長のお宅で行い、当日は、竈、薪、蒸籠、臼、杵などの道具を区民の皆さんが持ち寄り、それぞれに役割分担して餅つきがはじまりました。



竈で薪を燃やし、釜にお湯を沸かし、蒸籠でもち米を蒸す。もち米の蒸しあがるふっくらした香りと薪の燃える臭いが漂う中、蒸しあがったもち米を臼に移し、臼と杵が織りなす心地よいリズムと、立ち込める湯気の向こうに見えるみんなの笑顔。「よいしょ」「よいしょ」と、掛け声を掛け合いながら、地域の方・ご利用者・保護者・職員が代わる代わる餅をついて楽しみ、昔から伝わる手順や作法は、地域と人々の絆を深める大きな役割を果たしてきました。

平成二十八年十一月、後援会から新しい臼と杵を寄贈されました。その頃、もち米は古新田区の元理事の中村東雄さんから十年以上ご寄付いただきました。

令和二年まで餅つき大会は続きましたが、コロナ禍中は三密（密閉・密接・密集）を避け集団感染防止のため餅つきは中止していました。コロナも落ち着き、世の中の感染の落ち着きを受け、規制・制限の緩和の方針となり、一月十二日（日）朝から小雨が降る中、餅つき大会を開催しました。

古新田区の皆様には餅つき大会を回覧板でお知らせし、保護者の皆様にも参加を募り、当日は約百五十人分の餅と豚汁を用意しました。雨にも拘わらず、古新田区の皆様に大勢参加いただき、三〇kgのもち米を、一〇臼ついでいただき、つきあがったお餅は、地域・保護者のお母さん、職員で丸めま



「わいわいがやがや」でも大福作りは真剣勝負



「美味しいー！」



たくさんのお餅が食べられました。



「あっちうち、あっちうち」言いながら、真つ赤な顔をして餅をちぎる人、「うわっ、あつい！」「わあー、やわらかーい」「赤ちゃんの肌みたい」と、初めてつきたてのお餅を触った人もいて、食堂は、わいわいがやがや大賑わい!!大福名人が「こうして広げて、真ん中のおんこをまわりの餅をつまんでこうやって包む」実演指導。

大福作り初心者「これでいいの?」「これをこうして・・・」真剣勝負。

「あんこが漏れなきやいの!!」三百個のあんこ玉（五kgのこし餡）が無くなる頃には、誰が作ったかわからない程の出来上がりになりました。

餅つきは、単なる食べ物作りを超えた、地域と人の繋がりをつくる役割を果たしている大切な行事です。「ペタンペタン」というリズムミカルな心地良い音がこれからも続いて行くことを願っています。

末吉弥生栄養士

## 新入職員紹介者への謝礼制度 “初の支給へ”



上田後援会長から、初支給を受ける黒川友之さん。これからの活躍が期待されます。

紹介者の方へも支給されました。



社会福祉法人いちょうの里後援会は、職員不足を少しでも緩和できればと、就職を希望する方を紹介して頂いた方に対して、対象者が半年以上勤務が継続した場合に謝礼金を支給する制度を始めました。

この度、該当する方へ初めての支給をいたしました。皆様から多くの新人さんをご紹介ください。よろしく願います。

なお、令和六年七月より現在までに、七名の方々が採用されました。

大変ありがとうございました。

後援会一同

【表紙から続く】  
 その後に学園、保護者が合流し入山され、たけのこ狩りが始まりました。鍬を使いこなし上手に掘る人、家族で楽しむ人、掘ったたけのこに土をかける人と思ひ思いに堪能されていたようです。  
 かつては鍬も使わずに手で掘り起こす猛者もいましたが、時は経ちました。皆さん大人になられたのだと感じています。  
 僅か一時間ほどの行事でしたが、天気にも恵まれて気持ちの良い活動ができました。

参加いただいた保護者にはたけのこをお持ち帰り頂き、ご利用者には翌日に筍ごはんを食して頂きました。皆様の御協力でもとても良い行事ができたことに感謝いたします。



## 打上パーティー 担当 池田友子

二月十九日、打ち上げパーティーを行いました。ハーベストさんの協力のもと、バイキング形式の豪華な食事が並び、お寿司は握り寿司コーナーを会場に用意してくれました。

ご利用者の方は、職員が配膳した食事を持って行く形が多く、自分で選んで、持つて来ると言う場面の実現には、もう一工夫が必要だなと反省する事もありました。

昼食後にホールで「還暦を祝う会」をしました。昨年度の打ち上げパーティーが、中止になったので、昨年還暦の方もお祝いしました。十八歳で入所された方は、成人すると市の成人式に参列し、「成人を祝う会」を行っていました。

今後は「還暦を祝う会」になって行くのだと思うと、開所してから年月を感じます。

還暦(60歳)、古希(70歳)、喜寿(77歳)、傘寿(80歳)、米寿(88歳)、卒寿(90歳)、白寿(99歳)、百寿(100歳)とあります。人生100年と言われていきます。皆さんお元気に過ごして、お祝いができればと願います。

なんか恥ずかしい  
照れちゃいます。職人さんのお寿司コーナー



## 全体お花見 担当 浅野真輝



内浦山県民の森  
屋根付きステージで

四月三日(木)に全体活動の一環として「全体お花見会」を開催しました。場所は勝浦ダム上の桜の広場で開催する予定でしたが、工事のために入所部・通所部・GHのご利用者、職員を含めた百人規模の人数がお花見をするのはスペース的に不可能なので、通所部の深井主任と相談し、内浦山県民の森で開催することにしました。

予定は、内浦山県民の森へ車で行き、芝生でユニット毎に自由に過ごしつつジュースとお菓子を食べるというものでした。しかし、当日はあいにくの雨天で、内浦山県民の森へ車で行き、トイレ休憩後学園へ戻り、ユニット毎に配布したジュースとお菓子を食べるという雨天時バージョンへの変更を余儀なくされました。また、Aユニットは感染症による隔離が完全に解除とはならず、残念ながら他ユニットとは別行動のため学園に残ることとなってしまいました。いざ会場へ着いてみると雨脚が弱く、短時間なら車から降りられる程だったため急遽予定を変更し、先に到着していた入所部全員で会場内の屋根付きのステージまで行きました。

その後、ユニット毎に桜を背景に集合写真を撮ることも出来ました。天候

## きれいな桜をバックに記念撮影



うわさの、もっちり  
プリュレクレープ

にこそ恵まれませんでしたが、はしゃいでいたり、ニコニコしている方も見られ、雨天時バージョンながら、それはそれで皆様楽しんでおられる様子でした。その後少し遅れて通所部・GHも到着しましたが、丁度そのタイミングで雨脚が強まり、通所部・GHは車から降りること・写真撮影は断念、入所部もすぐに車へ戻り帰園するとう、メインのお花見の部分はなんとも心残りのある終わり方となりました。帰園後には、最後の締めとして各ユニットへジュースとお菓子(ローソンのもっちりプリュレクレープ)を配布、皆様美味しそうに食されていました。

入所部の全体活動を一人で担当するというのが初めてということもあり、何を準備したら良いのかも分からず不安で一杯でしたが、通所部の深井主任が親身にご指導して下さい、事前準備並びに当日の進行を慌ただしくなりながらも無事やり遂げることが出来ました(感謝してもしきれません)。今後また何かしらの全体活動の担当になることが必ずあると思いますが、その時は今回ご指導頂いたことを活かし、ご利用者と職員が心に余裕を持って活動を存分に楽しめるようにしていきます。

## 2024年度 いちょうの里後援会決算報告書

| 収入     | 科目                    | 予算額       | 決算額       |
|--------|-----------------------|-----------|-----------|
|        | 会費(後援会から礼状)           | 1,100,000 | 2,190,000 |
|        | 会員から委託寄付<br>(法人から領収書) | 1,700,000 | 607,000   |
|        | 預金利息                  | 0         | 573       |
|        | 雑収入                   | 0         | 0         |
|        | 収入合計                  | 2,800,000 | 2,797,573 |
| 支出     | 会議・交通費                | 70,000    | 57,000    |
|        | 広報・通信費                | 250,000   | 254,159   |
|        | 委託寄付(いちょうの里へ)         | 4,000,000 | 2,210,000 |
|        | 食費                    | 20,000    | 19,376    |
|        | 施設行事支援費               | 0         | 0         |
|        | ゆうちょ振込手数料             | 60,000    | 41,954    |
|        | リクルート関連               | 200,000   | 120,000   |
|        | 予備費                   | 200,000   | 0         |
|        | 支出合計                  | 4,800,000 | 2,702,489 |
|        | 当年度収支差額               |           | 0         |
| 前年度繰越金 |                       | 4,239,924 | 5,363,361 |
| 次年度繰越金 |                       | 5,363,361 | 5,458,445 |

上期の通り2025年5月11日社会福祉法人いちょうの里後援会会計監査を受けたことを報告します。

社会福祉法人いちろうの里後援会会長 上田 順皓

決算報告書及び付属資料は整理されておりその内容に概ね問題はありません。

監事 松崎 正

監事 辰己 鐵次郎

## 後援会への入会のお願い

いちようの里後援会では  
会員皆様をはじめ賛同され  
る方々のご協力が必要とな  
ります。

友人知人の方にお知らせ  
いただければ幸いです。

送金のためにゆうちょ銀  
行用の払込取扱票が同封さ  
れております。

ご都合によつてはお近く  
のコンビニやインターネッ  
ト払込などでも可能です。

払込手数料がかかる場合  
は自己負担にてお願いいた  
します。

なお、お申し込みにあた  
りご紹介者がありましたら、  
その方のお名前も同封の払  
込用紙にご記入くださいま  
すようお願いいたします。

年会費は一口3千円です、入会のご協力をお願いいたします。送金は郵便局備え付けの払込取扱票をご利用願います。

口座番号 00140-7-604319  
加入者名 社会福祉法人「いちょうの里」後援会

払込取扱票は広報誌に同封しております。  
すでに今年度の会費納入済みの方へも発送作業の都合上払込取扱票を同封しております事をご理解下さいますようお願い申し上げます。  
ご不明点等御座いましたらお気軽にお問合せ下さい。

**☎ 043-227-2011**

東葉総合法律事務所  
弁護士 伊藤愛彦氏  
(イトウ ナルヒコ)

興味のある方、  
詳しく知りたい方は  
左記法律事務所まで  
お気軽にお問い合わせください。

優遇が受けられるのは、国や地方公共団体、認定NPO法人、特定公益増進法人（公益社団、財団法人）、社会福祉法人、学校法人などへの寄付に限られます。

## 遺贈寄付制度について

遺贈寄付とは、社会貢献活動に役立てることなどを目的に、被相続人の遺産を遺言によつて特定の団体（個人）にゆずることです。

この遺贈寄付には、遺産のほかにも生命保険や信託による寄付も含まれます。

遺贈寄付をした財産は相続税の控除対象に含まれるので、納めるべき税金を減らすことができます。特別な手続きも不要です。

日々、おいしいご飯を――

お米が足りない・・・

価格高騰が続き、店頭も品薄になり“米（こめ）”が買えない！

一時、うどんや蕎麦、スパゲティ等でしのいだ方も多いのでは？

おむすび、お弁当、お寿司や丼ぶり物等々にもお米は欠かせません。

令和の“米騒動”政府備蓄米の古米、古古米の大量放出は一時的であって欲しい。

（加工用米は別。味噌、清酒、煎餅用等）

令和七年産米が豊作で且つ安定した適正価格になること（需要と供給バランスも重要）を切に願います。

by  
佐

# 編集後記

保護者会の面々が代わりました。

ここ二、三年の事ですが、入所者の保護者会に参加する方々が代わってきました。

我が家の息子がみずほ学園に入所したのは十八歳の時でした。初めての保護者会のことには、とても緊張して、ご挨拶をしたことなど、懐かしい思い出となっています。私より先輩の保護者の方々がいろいろなご意見を交わしていらつしやるのを見て、とても頼もし

あれから十数年が経ち、先輩の保護者の方々も高齢となっている現在、ここ数年でご両親に代わって保護者会に参加する兄弟が徐々に増えて来たように感じられます。みずほ学園の職員の皆さんも世代交代が始まって来ています。保護者会の会長も昨年度より利用者の兄弟の方がなされるようになりました。

利用者の親が考える理想の学園と利用者の兄弟が考える理想の学園は多少違うように思いますが、当然のことだと感じます。今後はどのように学園は変わっていくのでしょうか。

保護者 R より